

第三者評価結果入力シート（児童心理治療施設）

種別	児童心理治療施設
----	----------

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人NPOかなびの丘

②評価調査者研修修了番号

SK2021197
SK2021210

③施設名等

名称：	大阪市立 弘済のぞみ園
施設長氏名：	丸岡 かおり
定員：	40名
所在地（都道府県）：	大阪府
所在地（市町村以下）：	吹田市古江台6丁目2-1
T E L：	06-6871-8012
U R L：	https://kohsaimi-rai-nozomi.jp/

【施設の概要】

開設年月日	2006/4/1
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 みおつくし福祉会
職員数 常勤職員：	34名
職員数 非常勤職員：	7名
有資格職員の名称（ア）	社会福祉士
上記有資格職員の人数：	5名
有資格職員の名称（イ）	保育士
上記有資格職員の人数：	11名
有資格職員の名称（ウ）	社会福祉主事
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（エ）	看護師
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（オ）	公認心理師
上記有資格職員の人数：	7名
有資格職員の名称（カ）	臨床心理士
上記有資格職員の人数：	6名
施設設備の概要（ア）居室数：	17 室
施設設備の概要（イ）設備等：	娯楽室・学習室・プレイルーム
施設設備の概要（ウ）：	
施設設備の概要（エ）：	

④理念・基本方針

<p>【理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人を大切に、安心・安全な生活の中で愛情を持って育てます。 ・子どもたちとは、ともに暮らす仲間、信頼できる大人から、多くのことを学びながら成長します。 ・職員は子どもたちの成長をうながす理論と、適切な援助技術を学び続けます。 ・専門的なケアを十分におこない、家庭・地域や関係機関と協力して、自立できるよう援助します。 <p>【基本方針】</p> <p>子ども一人ひとりの人権を尊重し、言動の背景にあるものへの理解を深め、寄り添い、励まししながら、こどもに主体性を持たせて、将来を見据えた支援を行う。</p>
--

⑤施設の特徴的な取組

<p>1. ハイブリッド施設 児童養護施設との併設運営が行われており、愛着形成や自立支援に力点を置き、家庭的な視点、社会性、自立性を育む支援、集団活動への積極的な取り組みも重視しています。</p> <p>2. それぞれの子どもに合わせた学習 施設児童のみが通学する小中学校が併設されており、学校教員との密な連携のもと、児童個々の学力や課題に細やかな対応が行える環境にあります。</p> <p>3. グループワークの重視 クラブ活動やミーティング活動等のメニューを多く設定して日課に取り込み、児童の社会性や自発性の向上に繋げるような支援活動が行われています。</p>
--

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2023/11/14	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2024/2/8	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	令和 2 年度	

⑦総評

<p>【評価が高いところ】</p> <p>◆職員の育成と研修への取組 職員個々に目標を設定し、個別面談の機会を積極的に設けるなど、職員が主体性を持って成長していける環境がみられます。また、研修の機会を十分に確保するとともに、職員自らが望む研修参加に費用負担制度を設けるなど、職員育成への意識の高さが伺えます。加えて、職員が働きやすい環境づくりにも力点を置いて取り組まれており、その効果による実績も現れています。</p> <p>◆子どもの満足度の向上に向けた取組 アンケートや子ども会の実施等が積極的に行われ、子どもの満足度の向上に努めています。また、子どもが主体的に課題を解決していくことへの配慮や、職員に相談しやすい環境づくりにも努めています。</p> <p>◆不適切な関わりの防止に向けた取組 不適切な関わりと思われる具体的な事象をリスト化し、定期的に共通認識を持つ場を設けるなどにより早期の対応に努め、措置児童等虐待の防止に向けた取組が積極的になされています。</p> <p>【改善が望まれるところ】</p> <p>◆中長期計画の策定とそれに基づいた各種計画の策定 施設の建替等の整備計画については中長期計画が策定されていますが、理念等の実現に向けて多角的な観点からのビジョンをもとにした中長期計画の策定が望まれます。併せて、それに基づいた単年度事業計画等の各種計画が策定されることも望まれます。</p> <p>◆地域との関係構築と地域福祉向上のための取組 施設所在地や近隣地域のニーズを把握し、それらをふまえた事業実施、施設機能の還元や連携等の取組が希薄であると見受けられます。地域の福祉向上のための取組の具現化が期待されます。</p> <p>◆子ども同士の関係性にまつわる課題への対応 子どもの権利保障にかかわる課題として、それぞれが置かれる環境によって、また一定の時点においては権利が十分保障されない状況がみられることも現実であると考えられます。子ども同士の関係性にまつわる現状の施設内ルールについては、様々な観点からの議論の上で実施されていることは確認できましたが、今後も議論を重ね、常に検証されることが望まれます。</p>

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

<p>この度は第三者評価を実施して頂きありがとうございます。細かい部分まで丁寧に見て頂き、施設の特徴をより伸ばしていく部分と、特性があるが故にあまり開拓できていなかった部分など、気付かされた課題がたくさんありました。特に地域貢献や権利擁護については、アドバイス頂いたことを真摯に受け止め、職員間で共有し、議論と検証を重ね、実現できるよう進めていきます。また、高評価いただいたところは引き続き継続できるよう努めてまいります。</p> <p>今後は小規模化に向けて中長期計画を策定しビジョンを職員と共有していき、子どもも職員も満足できるような施設を目指していきます。</p>

⑨第三者評価結果（別紙）

（別紙）

第三者評価結果（児童心理治療施設）

共通評価基準（45項目） I 治療・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

<p>（1）理念、基本方針が確立・周知されている。</p>	<p>第三者 評価結果</p>
<p>① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する治療・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>■理念や基本方針については全職員に説明した上で理解を促す取組を行い、さらに毎日職員で復唱するなどして周知がなされています。また、保護者や入所児童に対しては別途わかりやすい資料を作成し、配布、送付するなどして周知及び理解を促すよう努めています。</p>	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、治療・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に治療・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
■施設利用対象地域と施設所在地が離れていることもあり、施設所在地における各種福祉計画等の把握は十分とはいえず、課題であるととらえられます。		
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b
	<input type="checkbox"/> 経営環境や治療・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
■経営課題や問題点が明確化され、事業計画書等に記載されています。また、それらは役員間で共有され、具体的な取組も進められていると認められます。		
■職員への周知の方法については改善の余地が伺えます。		

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	
【判断した理由・特記事項等】		
■人件費や建物の補修、建替等についての中期計画は具体的な内容で策定されています。		
■理念の実現等に向けた目標や経営課題内容等については明確にされた計画が確認できませんでした。		
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○

	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
【判断した理由・特記事項等】		
■経営課題や問題点の解決・改善に向けた中・長期計画を策定した上で、それらを反映し、具体性をもった単年度計画の策定が望まれます。		
(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 <input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。 <input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。 <input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。 <input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。 <input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等が)されており、理解を促すための取組を行っている。	b ○
【判断した理由・特記事項等】		
■事業計画の実施状況の把握、評価、見直しについては明確な手順等が確認できませんでした。また、事業計画の策定及び評価において職員の参画の機会が増えることが望まれ、それらの評価をふまえて見直しがなされることで職員の理解が高まることが期待されます。		
②	7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。 <input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。 <input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や保護者会等で説明している。 <input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	a ○ ○ ○ ○
【判断した理由・特記事項等】		
■事業計画の内容を保護者や児童にもわかりやすく説明した文書を作成し、理解を促す取組があり、高く評価できます。		

4 治療・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果	
①	8 治療・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。 <input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく治療・支援の質の向上に関する取組を実施している。 <input type="checkbox"/> 治療・支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。 <input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。 <input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	a ○ ○ ○ ○
【判断した理由・特記事項等】		
■毎年の自己評価を職員全員で取り組み、様々な支援内容についても定期的に評価・検討し、必要であれば改善に取り組むためのシステムが構築され、実施されていることが認められます。		

②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

■定期的に「業務改善委員会」を開催し、課題を整理して改善に向けて行動していくための仕組みが構築されており、稼働していることも認められます。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	<input type="checkbox"/>
【判断した理由・特記事項等】		
■施設長としての取組や自らの経営・管理方針等については、明確にしていると認められます。 ■施設長の役割等の表明方法については工夫が望まれます。		
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
【判断した理由・特記事項等】		
■施設長は、法人内外の管理職対象研修にも積極的に出席し、法令等の理解を深め、遵守に努める姿勢がみられます。また、職員会議や連絡会議など様々な機会に職員に理解を促す取組を行っていることが認められます。		
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
①	12 治療・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、治療・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、治療・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	<input type="checkbox"/>

	<input type="checkbox"/> 施設長は、治療・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、治療・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、治療・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 施設長は、治療・支援の質の向上のため自己研鑽に努めていると認められます。
- 様々な機会を通して指導力を発揮する取組も認められますが、部門によってはさらに積極的な参画が望まれます。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	

【判断した理由・特記事項等】

- 施設長は、経営改善や業務の実効性を高めることに積極的に取り組んでいると認められます。
- 各分野における経営改善や業務の実効性に向けての分析、それらをふまえての具体的な体制構築については、さらに積極的な参画が望まれる分野・部門があると認識されます。

2 福祉人材の確保・育成

(1)	福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	
	<input type="checkbox"/> 治療・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 人材の育成については、一定の方針のもと、その取組の実績が認められます。
- 人材の確保については、法人で委員会を設置するなどの取組が始動していますが、今後に向けて具体的な方針を定め、それに基づいて実施していくことが期待されます。

②	15 総合的な人事管理が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。	
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	

	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■職員と個別に面談する機会を多く設け、職員個々の意向把握と適切な評価を行うことに努めていることが伺え、総合的な人事管理の礎は形成されていると認められます。</p> <p>■法人において「キャリアアップ体系図」を策定しており、階層別の「役職のイメージ」と「求められるスキル（機能）」も一定の活用がなされています。それらをさらに活用し、明確な人事基準の策定が期待されます。</p>		
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■年次休暇消化率の向上、出産後の職場復帰への配慮などに努め、成果も認められています。メンタルヘルスに関する取組へのさらなる強化など課題は残るものの、社会的養護の現状においては、働きやすい職場づくりへ向けての配慮はかなりなされていると認められます。</p>		
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■「目標管理シート」等を利用して職員との個別面談の機会を積極的に設けるなど、職員一人ひとりに応じてその育成に向けた取組が認められます。</p>		
②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す治療・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 現在実施している治療・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	<input type="radio"/>

	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	
【判断した理由・特記事項等】		
■ ホームページ等の活用により適切に情報を公開していると認められます。 ■ 近隣地域に向けての理解を促すための取組の強化が期待されます。		
	② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
■ 事務、経理、取引等に関しては明確なルールのもと、適切な内部監査が行われていることが認められます。また、頻度に課題はあるものの、外部監査についても実施されています。		

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
	① 23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
■ 日常的な活動については地域の社会資源の利用が推奨され、実施されています。 ■ 地域の催し等への参加は認められますが、さらに日常的なコミュニケーションを心がけるなど、取組の強化が期待されます。		
	② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	
【判断した理由・特記事項等】		
■ ボランティア等の受入れについては基本的な考え方が明文化され、マニュアルも整備されています。 ■ ボランティア等に対して、児童心理治療施設に特化した研修等が不十分であるとの認識を持たれていますので、それらの点における強化が期待されます。		
(2) 関係機関との連携が確保されている。		
	① 25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b

	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	

【判断した理由・特記事項等】

- 施設として必要な社会資源は適切に把握され、一定の活用がなされています。
- 施設所在地における社会資源との協働、地域ネットワークへの参画等については今後の課題であるととらえられます。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	c
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設のもつ機能を地域へ還元したり、地域の関係機関・団体との連携等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	

【判断した理由・特記事項等】

- 近隣地域のニーズ把握は充分ではなく、地域への施設機能の還元や連携等についても今後の課題であるととらえられます。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する治療・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

- 施設所在地の地域福祉ニーズ等に基づく事業・活動はほぼなされておらず、今後の取組が期待されます。

Ⅲ 適切な治療・支援の実施

1 子ども本位の治療・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果	
	①	28 子どもを尊重した治療・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した治療・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した治療・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○	

	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した治療・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の治療・支援の標準的な実施方法等に反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 子どもを尊重した支援の実施を念頭に置いた取組を実施するための規程や標準的な実施方法を整備し、研修も積極的に行われています。
- 子どもの人権保障の観点から、施設内ルールの検証がなされることが期待されます。

②	29 子どもプライバシー保護に配慮した治療・支援が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した治療・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	○

【判断した理由・特記事項等】

- プライバシー保護のマニュアルが整備され、職員への理解を促し、またそれに配慮した治療・支援がなされていると認められます。
- プライバシーに配慮した環境を提供する工夫はなされていますが、ハード面の問題から十分に保障できているとはいえません。計画されている全面建替えによる改善が待たれます。

(2) 治療・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 子どもや保護者等に対して治療・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、治療・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の子どもや保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 施設の基本方針や治療・支援の内容等の情報提供については、わかりやすい資料を用い、丁寧な説明が行われています。またそれらの資料を必要に応じて適宜改定するなど、適切な取組がなされていると認められます。

②	31 治療・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもが自らの課題を可能な限り認識し、施設が行う治療・支援について納得し主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 治療・支援の開始・過程における支援の内容に関する説明と同意にあたっては、子どもや保護者等の自己決定を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 治療・支援の開始・過程においては、子どもや保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な子どもや保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■子どもや保護者等に対する治療・支援についての説明、意思決定が困難な対象者へ配慮についてのルール等は明文化されていないものの、個々のケースによって多職種での協議のもと適切な説明等がなされていると認められます。

③	32 治療・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり治療・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 治療・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、治療・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○

【判断した理由・特記事項等】

■治療・支援の継続性の確保に向けては、書面の他必要に応じて直接やりとりを行うなど、個々のケースに応じて配慮がなされ、実施されていると認められます。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

第三者
評価結果

①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■子どもへの定期的なアンケート調査、子ども会の実施、子どもが参画した上での改善検討の機会等、子どもの満足の向上への取組が積極的に行われていると認められます。

(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 治療・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、子どもや保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た子どもや保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、治療・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■苦情解決の体制が整備され、記入用紙の常時設置や定期的なアンケートの実施等を通して利用者が積極的に意見等を述べやすい環境に配慮されています。また、苦情内容及び解決結果等の記録及び公表等についても適切になされていると認められます。

②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【判断した理由・特記事項等】

■子どもが相談したり意見を述べることに関して、その方法等をわかりやすく明示しています。また、苦情解決の仕組みと合わせて相談や意見を述べやすい環境が整備されていると認められます。

③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の治療・支援の実施において、子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、治療・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■職員が個別に子どもと対応する時間を設けるなど、子どもの思いを傾聴する姿勢を重視していることが伺えます。
 ■意見箱へ寄せられた意見等への対応には、その頻度に工夫の余地があると考えられます。

(5) 安心・安全な治療・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

第三者
評価結果

①	37 安心・安全な治療・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもへの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■様々な職種の職員で構成する「安全委員会」を設置し、子どもたちにとって安全・安心な生活づくりに努めていると認められます。
 ■事故に至った事例やヒヤリハット事例が収集、検討され、改善に向けての取組もなされていますが、実効性の検証や研修の実施については強化していくことが期待されます。

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

■感染症に関する管理体制やマニュアルが整備され、職員会議でロールプレイ研修を行うなど、職員への周知も充分になされていると認められます。

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても治療・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

■事業継続計画は策定が進んでいます。早期に策定がなされ、その中で子ども及び職員の安否確認の方法についても明記されることが望まれます。

2 治療・支援の質の確保

(1) 治療・支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果	
①	40 治療・支援について標準的な実施方法が文書化され治療・支援が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	

【判断した理由・特記事項等】

■各種マニュアルは個別に整備されており、また、主に新任職員向けの「弘済百科」が策定され、治療・支援の標準化に向けた取組が進められています。それらの取組が体系化されると共に、実施状況が確認できる仕組みの整備が求められます。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 治療・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	
	<input type="checkbox"/> 治療・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	

	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や子ども等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
■各種マニュアルの見直しは随時なされていますが、標準化に向けた定期的な検証・見直しのシステムが構築されることが期待されます。		
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な治療・支援の内容等が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な治療・支援が行われている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
■アセスメントに基づいた自立支援計画策定のプロセスは確立されており、それに沿った取組がなされていると認められます。		
■策定過程における関係職員の協議の方法、子どもの意向把握を含めた手順等が確立され、それに基づいた取組が望まれます。		
②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに治療・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、治療・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、治療・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	
【判断した理由・特記事項等】		
■自立支援計画の策定から評価・見直し、周知に至るプロセスは確立しており、適切に実施されていると認められます。		
■子どもの意向把握とその反映、同意を得るための手順を定めることや、自立支援計画の評価・見直しの過程でみえてくる課題を標準的な実施方法に反映し、治療・支援の質の向上に活かしていく取組が求められます。		
(3) 治療・支援の実施の記録が適切に行われている。		
①	44 子どもに関する治療・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく治療・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○

	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの閲覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
■記録内容や表現の差異が生じないよう、「記録の書き方」を整備するなど、適切な記録とその共有化に努めていると認められます。		
	② 45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。	○
【判断した理由・特記事項等】		
■記録の管理体制が整備され、適切な運用がなされています。また、個人情報の取扱いについても職員に周知されていると認められます。		

内容評価基準（20項目）

A-1 子どもの最善の利益に向けた治療・支援

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮		第三者 評価結果
① A1 一人ひとりの子どもの最善の利益を目指した治療・支援が、総合環境療法を踏まえた多職種連携の取り組みで実践されている。	<input type="checkbox"/> 自立支援計画に、子どもの課題の解決に向けて福祉、心理、医療、教育の連携による総合的治療・支援方針が策定され、支援が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 職員が日々の治療・支援について振り返り、子どもの最善の利益の観点から、必要に応じて助言を受けられる環境や相互研鑽ができる体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 個々の子どもに心理治療担当を配置し、必要に応じて個別心理療法および集団によるコミュニケーション活動及び表現活動を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 精神的医療ケアの必要な子どもに対して必要に応じて、児童精神科医等の診療を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 重篤なケースについては、入院治療が必要になる場合に備え、外部の医療機関と連携し、必要に応じて話し合い等を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
■子ども全員に心理治療担当職員が配置され、個別の心理治療がなされています。外部の特定の医療機関との連携はありませんが、嘱託の精神科医による定期的な診察が行われており、相談体制は整っていると認められます。		
② A2 子どもと職員との間に信頼関係を構築し、生活体験を通して発達段階や課題を考慮した支援を行っている。	<input type="checkbox"/> 子どもから相談を受けたり生活場面でのことについて、個別に話し合ったりする機会や一緒に活動する時間を確保している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設生活において多種多様な生活体験（創作活動など）を通して、ものごとを広い視野で具体的、総合的にとらえる力や、豊かな情操が育まれるような活動が組み込まれている。	○
	<input type="checkbox"/> 個々の子どもの発達段階や課題に応じて、日課は出来るだけ柔軟に対応している。	○

	<input type="checkbox"/> つまずきや失敗の体験を大切に、行動上の問題等があった場合も背景にある心理的課題の把握に努め、自己を向上発展させるための態度が身に付けられるよう支援している。 <input type="checkbox"/> 問題の解決に当たって、謙虚に他から学び、他と協力していける力量や態度を形成できるようグループ活動などを取り入れ支援している。	○
--	--	---

【判断した理由・特記事項等】

- 各種スポーツや委員会活動など多くのグループ活動があり、他者と協力、協同する力を養うメニューが多く取り入れられています。
- 日課における柔軟性のある対応と失敗体験を通じた学びの支援については、改善の余地が認められますが、職員に改善志向がありますので今後支援の向上が期待されます。

③	A3 子どもの発達段階に応じて、さまざまな生活技術が身に付くよう支援している。 <input type="checkbox"/> 大人と一緒に買物をする体験、一人で買物をする体験などを通して、経済観念や店員とのやり取りなど地域生活に必要なスキルが身につくよう支援している。 <input type="checkbox"/> 小遣いの用途については、子どもの自主性を尊重し、不必要な制限を加えず、計画的な使用等金銭の自己管理ができるよう支援している。 <input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、電話の対応、ネットやSNSに関する知識などが身につくよう支援している。 <input type="checkbox"/> 地域での生活を見据えて、発達段階に応じて一人での受診や、市役所、図書館、郵便局などの公共機関、交通機関を利用するなど、様々な生活技術を学ぶプログラムを実施している。	a ○ ○ ○ ○
---	--	-----------------------

【判断した理由・特記事項等】

- SNSに関するプログラムを実施するなど、生活技術を身につけていくための支援が実施されています。また、社会自立を見据えたプログラムを実施するための設備も用意されています。

④	A4 子どもに暴力・不適応行動などの行動上の問題があった場合には、適切に対応している。 <input type="checkbox"/> 行動上の問題がある子どもについては、訴えたいことを受け止めるとともに、問題となる行動を観察・記録し、誘引や刺激等の要因、人的・物的環境との因果関係を分析し治療・支援を行うとともに、自分の意思を伝えるための適切な方法を学ぶ機会を設けている。 <input type="checkbox"/> 行動上の問題のある子どもについて、その特性等をあらかじめ職員間で情報の共有をはかり連携して対応できるようにしている。 <input type="checkbox"/> 子どもの心身を傷つけずに対応するとともに、周囲の子どもの安全を図っている。 <input type="checkbox"/> 自傷他害の危険性が極めて高いと判断されるなど、子どもの安全確保等のために他に取るべき方法がなく、子どもの最善の利益になる場合に限り、マニュアルに基づいて行動等の制限が最小限の範囲で行われ、その記録が残されている。 <input type="checkbox"/> 行動等を制限するケアについて、具体的な例を示して職員に周知するとともに、子どもに知らせ、子どもが納得できない場合、苦情解決制度やその他の方法を用いて改善を求めたり意見を述べることを知らせている。	b ○ ○ ○ ○
---	---	-----------------------

【判断した理由・特記事項等】

- 行動制限についてのマニュアルが整備されており、共通認識を持って対応しようと努めていることが認められます。
- 行動制限を行った際の記録については課題が見受けられます。

(2) 子どもの意向への配慮や主体性の育成

①	A5 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちのこととして主体的に考えるよう支援している。 <input type="checkbox"/> 子どもが自分および自分たちの生活がより良くなるように考える機会（個人面談、子ども会など）をさまざまに用意している。 <input type="checkbox"/> 活動、行事等の参画について、子ども一人ひとりの選択を尊重し、自発的な参加となるように支援し、日常生活を含め行事等のプログラムに追われることなく、ゆとりある生活が過ごせるよう配慮している。 <input type="checkbox"/> 子ども自身が自分たちの生活全般について、自主的・主体的な取組ができるような活動（施設内の子ども会、ミーティング等）を実施し、子どもの自己表現力、自律性、責任感などが育つよう、職員は必要な支援をしている。	b ○ ○
---	--	-------------

<input type="checkbox"/> 子どもが主体的に小集団活動、行事の企画・運営に関わることができる。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 活動で決定した要望等について、施設や職員は可能な限り応えている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

■様々な活動や行事の実施に向け、子どもたちが話し合い、運営に携わる機会が多く設定されています。
 ■意図的にプログラムを多数設定しているため、子どもたちも日課や行事に追われてしまっているという現状が認識されていますので、適切なゆとりの確保に向けての取組が期待されます。

②	A6 子どもの協調性を養い、他者と心地よく過ごすためのマナーや心遣いができるように支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設のルール、約束ごとについては、話し合いの場が設定されており、必要に応じて変更している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 社会生活の規範等守るべき約束ごとを理解できるよう子どもに説明し、それらを尊重した行動をとるよう支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 外出や買い物など社会的ルールを習得する機会を設けている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 普段から、職員が振る舞いや態度で模範を示している。	

【判断した理由・特記事項等】

■施設内では子どもたちが主体となった話し合いの場が多く設定されており、自らの生活環境について考える機会が保障されています。また、外出の機会を利用して社会的ルールを習得する機会も保障されています。

(3) 子どもの権利擁護・支援

①	A7 子どもの権利擁護に関する取り組みが徹底されている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護について、施設としての基本的な考え方や方針が明示され、それに基づく規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもに権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた治療・支援が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもとの関わりが得られない親の対応に、適切な親権の行使として未成年後見制度などの活用を視野に入れた支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に学習や検討する機会を定期的に設けている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等の思想や信教の自由を保障している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの保護のために、児童虐待防止法12条の「面会等の制限等」を適切に行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

■子どもの権利擁護に関するマニュアル等が整備されており、加えて毎朝の職員ミーティングにおいて権利侵害の防止及び早期発見を意識した確認を行うなど、高い意識を持って取組がなされていることが伺えます。
 ■一方、それらについて職員の理解を促す機会が不十分であるという認識を持たれていますので、具体的な取組が望まれます。また、子どもの権利擁護の観点から施設内の現行ルールの検証も期待されます。

②	A8 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 定期的に子どもの状態に応じて権利についての理解を深めるよう、権利ノートやそれに代わる資料を使用して日常生活の中で起こる出来事を通して、守られる権利について子どもたちに説明している。	
	<input type="checkbox"/> 日々の生活や行事等で、子どもが助け合い、認め合い、協力し合い、感謝し合う態度を促進するよう支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設内の子ども間での暴力、いじめ、差別などの問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方についても点検を行うとともに、起こった場合の早期対応について子どもや職員に周知している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設だけでは暴力やいじめに対する対応が困難と判断した場合には、児童相談所の協力を得ながら対応している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

■普段の生活場面や行事への取組を通して、相互に尊重する意識を育てる取組が行われていると認められます。また、CAP研修も採り入れられ、定期的実施されています。
 ■権利ノートもしくはそれに代わる資料を用いての説明等は取組がなされていないので、日常の支援に加えての実施が望まれます。

(4) 被措置児童虐待の防止等

①	A9 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりについて、具体的な例を示し、職員に徹底している。	○
	<input type="checkbox"/> 会議等で取り上げる等により不適切なかかわりが行われていないことを確認している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止の視点から、職員体制の見直し等の検討・取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止について、具体的な例を示して、子どもに周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合の対応方法等を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について対応マニュアルを整備し、研修会などで職員に周知・理解をはかっている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■独自に不適切なかかわりと思われる言動等をリスト化し、定期的に共通認識の場を設け、その防止と早期発見、意識の向上に向けて取組がなされており、高く評価できます。

A-2 生活・健康・学習支援

(1) 食生活

①	A10 食事をおいしく楽しく食べられるよう工夫し、栄養管理にも十分な配慮を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもが日々の食生活に必要な知識及び判断力を習得し、基本的な食習慣を身につけることができるよう食育を推進し、皆と一緒の食卓で楽しく食べられることを目指して一人で食べることから始めるなど、プロセスを踏むことが保障されている。	○
	<input type="checkbox"/> 温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという食事の適温提供に配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの年齢や子どもの体調、疾病、アレルギー等に配慮した食事を提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 食に関する課題のある子どもへの具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 陶器の食器等を使用したり盛りつけやテーブルの飾りつけの工夫など、食事をおいしく食べられるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に子どもの嗜好や栄養摂取量を把握し、献立に反映させ、好き嫌いをなくす工夫や偏食支援については、無理が無いよう配慮し実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの発達段階や課題に応じて食事の準備、配膳、食後の後片付けなどの習慣や簡単な調理など基礎的な調理技術を習得できるよう支援している。	○
<input type="checkbox"/> 郷土料理、季節の料理、伝統行事の料理などに触れる機会を持ち、食文化を継承できるようにしたり、外食の機会を設け、施設外での食事を体験させている。	○	

【判断した理由・特記事項等】

■アンケートの実施や職員による検討会等以外に子どもによる給食委員会が開催されており、食生活での満足度の向上に取り組まれています。

■日常の食卓の飾り付けや食事の適温提供には課題が見受けられます。

(2) 衣生活

①	A11 子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 気候、生活場面、汚れなどに応じた選択、着替えや衣類の整理、保管などの衣習慣を習得させている。	○
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、整理整頓、洗濯やアイロンがけ、衣類の補修等、子ども自身できるように支援している。	○

	<input type="checkbox"/> 発達段階や好みに合わせて子ども自身が衣服を選び、購入できる機会を設け、個々の収納スペースを確保するなど、「自分の服である」という所有感を持てるようにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 毎日取り替える下着や、汚れた時などに着替えることができる衣類が十分に確保され、常に衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものが着用されるよう提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 発達段階や課題に応じて、TPOに合わせた服装や自己表現ができるよう配慮している。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 衣服の選択、購入、整理、洗濯等は、年齢や発達に応じて適切に配慮され、支援がなされていると認められます。
- アイロンがけ等においては、管理上の問題から高年齢児にも経験の機会がないため検討が望まれます。

(3) 住生活

①	A12 居室等施設全体を、生活の場として安全性や快適さに配慮したものにしている。	b
	<input type="checkbox"/> 居室は、自分の空間であることを認識する場であるとともに、発達段階や課題に合わせた安心できる空間となっており、リビングスペース等くつろげる空間を確保するように努めている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの年齢や発達状況にあった、空間や家具、生活機材が用意されている。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、冷暖房設備を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 居室の清掃や補修など、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 防犯のためのオートロックや防犯カメラなどを設置している。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 個室の確保ができない状況の中でできる限りの工夫はなされているものの、自分の空間であることを認識する場とは言いがたい状況があります。また、フロアによっては共有スペースの面積も十分とは言えない居住構造となっています。建替が予定されているので、大きく改善が見込まれ、期待されています。

②	A13 発達段階に応じて居室等の整理整頓、掃除等の習慣が定着するよう支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 居室の整理・整頓、掃除の習慣や洗濯、ふとん干し、各居室のごみ処理などの生活習慣を身につけられるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 戸締り、施錠の習慣や、電灯、エアコンなどの操作を身につけられるように支援している。	
	<input type="checkbox"/> 自分の部屋や共有空間についての様々な工夫について子どもの意見を取り入れている。	○
	<input type="checkbox"/> 掃除機や洗濯機、ドライヤーや電気髭剃り等の生活に関わる機器の使用に配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 建物・設備の軽度な破損について、簡単な修理を体験できるように配慮している。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 共有スペースにおいては子どもの意見を取り入れた空間とすることが可能であり、実施されています。
- 子ども自身が戸締まりや施錠を行う機会は少なく、エアコンなどの操作も経験することは少ないという現状があり、建替後の改善が期待されます。

(4) 健康と安全

①	A14 発達段階に応じて、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもの発達段階や課題に応じて、常に良好な健康状態を保持できるよう、睡眠、食事摂取、排泄等の状況を職員が適切に把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 洗面、歯磨き、入浴時に体や髪を洗うことなど清潔を保つための支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分の体調について注意を払うように支援し、体調について相談しやすいように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの発達段階や課題に応じて、危険物の取扱いや危険な物・場所・行為から身を守るための支援を行っている。	

	<input type="checkbox"/> 子どもの交通事故防止など、様々な危険から身を守るため、交通ルールや外出時の注意点、緊急時の対応の仕方等について日頃から子どもに教え、準備をしている。	○
--	---	---

【判断した理由・特記事項等】

■看護師が中心となり健康管理が適切に行われており、特に口腔ケアには力点を置いた支援がなされています。また、発達段階に応じて自己管理ができるよう支援していると認められます。
 ■危険物は職員による管理が原則であり、その取扱の方法を学ぶ機会は少ないと認識されます。

②	A15 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の医療機関との連携により、必要な受診に即応できる体制がある。	○
	<input type="checkbox"/> 健康上特別な配慮を要する子どもや服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬や薬歴のチェックを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 薬物の管理及び服薬の手順を施設として定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう、説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 様々なアレルギーへの対応や、救命救急対策などについて組織的に行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■嘱託医師による定期検診を週に1回実施することで、医療との連携を密にし児童個々の健康状態を把握しています。また、耳鼻科と皮膚科については、隣接する病院での受診が可能であり、即応できる環境にあります。

(5) 性に関する支援等

①	A16 子どもの年齢・発達段階等に応じて、性をめぐる課題に関する支援等の機会を設けている。	a
	<input type="checkbox"/> 発達段階や課題に応じて性に関する支援の基本的な考え方、方針を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 性被害、性加害など性に課題のある子どもに対する支援を自立支援計画をもとに行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 年齢、個々の状況、発達段階に応じて、性をめぐる諸課題について支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 性をめぐる不適切行動を予防する取組をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども間の性的加害・被害を把握し適切に対応している。	○

【判断した理由・特記事項等】

■月1回の割合で、多職種で構成する性教育委員会を実施し、性をめぐる課題に関する支援の方法を協議して取り組まれています。子どもによっては個別のプログラムを用意して実施されており、適切な支援がなされていると認められます。

(6) 学習支援、進路支援等

①	A17 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援に取り組み、「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 常に子ども個々の学習に対する構え、学力を把握し、それらに応じた個別的な学習支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設の子どものための分級や分校などの学校教育が用意され、日々の子どもの状況の変化等に関する情報が、学校・施設間で確実に伝達できるシステムが確保され、個々の子どもに対する生活支援、学習支援及び進路支援等を相互に協力して実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 静かに落ち着いて勉強できるように個別スペースや学習室を用意したり、学習支援のため、ボランティアの協力を得るなどの配慮をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 進路選択に当たって、保護者等、学校、児童相談所の意見を十分聞くなど連携している。	○

	<input type="checkbox"/> 学校で生じた子どもの行動上の問題に対しては、学校に協力して対応し、ケースカンファレンスには原則として施設と学校の担当者が参加して検討している。 <input type="checkbox"/> 退所後に通学する学校との連携が適切にとられている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■敷地内にある学校の教員とは常に緊密な連携がなされており、相互に情報交換しながら連携して支援が行える体制が構築されていることが認められます。加えて学年によっては、子ども個々の特性に理解がある学習塾と契約して施設内で学習する場も設定されています。</p> <p>■退所後に通学する学校との連携については、施設として取り組むシステムは構築されていません。</p>		

A-3 通所支援

(1) 通所による支援		
①	<p>A18 施設の治療的機能である生活支援や心理的ケアなどにより、通所による支援を行っている。</p> <input type="checkbox"/> 様々な通所プログラムを策定し、子どもの自立支援を実施している。 <input type="checkbox"/> 在宅の子どもの生活実態を的確にとらえ、それに基づき適切な支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 在宅の子どもや家族の支援として通所支援を実施している。 <input type="checkbox"/> 必要に応じて訪問による支援を実施している。	評価外
【判断した理由・特記事項等】		

A-4 支援の継続性とアフターケア

(1) 親子関係の再構築支援等		
①	<p>A19 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立し、家族関係の再構築に向けて支援している。</p> <input type="checkbox"/> 施設の基本方針等に、家族への支援や家族療法等に関する基本的な考えや姿勢が示されている。 <input type="checkbox"/> 個々の子どもに家族担当を設け、日常的な連絡や気軽な相談の窓口として活用できるよう案内し、子どもの日常生活の様子や学校、地域、施設等の予定や情報を定期的に家族に伝えている。 <input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員を独立した専門職として配置し、その役割を明示している。 <input type="checkbox"/> 子どもと家族の関係の再構築、家族再統合が可能となるように、児童相談所と協力して親子関係の修復や保護者等の養育力の向上のためのプログラムを継続的に実施している。 <input type="checkbox"/> 子どもと家族との交流について、子どもの意思を尊重し、面会、外出、一時帰宅については、児童相談所等と協議し、個別性に配慮しながら、一定のルールや基準を定めて実施している。 <input type="checkbox"/> 親子が必要な期間一緒に過ごせるような設備を施設内に設けて、家族支援の趣旨に沿った活用がなされている。	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■ケースにより家族再統合のためのプログラムが実施されています。</p> <p>■家族担当は必要と判断したケースのみの配置であり、また家庭支援専門相談員が専門職としての機能としてその役割を十分に果たすまでには至っていない状況が伺えます。</p>		
②	<p>A20 子どもが安定した生活を送ることができるよう退所後の支援を行っている。</p> <input type="checkbox"/> 通所機能や外来機能を利用して、退所後の支援を継続して行っている。 <input type="checkbox"/> 退所後何年経っても施設に相談できることを伝えている。 <input type="checkbox"/> 退所者の状況の把握に努め、記録している。	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p>

地域の関係機関と連携し、退所後の生活の支援体制の構築に努めている。



【判断した理由・特記事項等】

- 定期的なアフターケアが必要なケースは、本人の希望も考慮して実施されていることが認められます。
- 退所後の支援については、確立した体制を整備して取り組んでいくことが期待されます。